

**未来へつなぐ!
いじめ3ないプロジェクト**

平成28年度のPTA重点事業「いじめ3ないプロジェクト」の総括が、「いじめ3ないサミット」として3月に開かれました。思えば、学校と地域と保護者を巻き込んだ形で実行委員会をスタートさせ、講演会、いじめ3ないストラップのデザインコンペ、ストラップ販売、標語コンクール、どうぶつ将棋大会、いじめ3ない週間、ビデオメッセージ収録など、いろんな取り組みを実施。次第に児童たちの意識が変わり、学校全体のムードが盛り上がるのを目の当たりにし、子ども達の本来の力に頼もしさを感じたりもしました。

でも、「いじめ3ないプロジェクト」はこれで終わりではありません。この精神をいつまでも引き継ぎ、学校からいじめが無い、あるいは起きてもすぐ対処できる、そんな未来を創っていってほしいですね!





隣国との友好は、地方の友情から。

平成29年は、静岡県と中国浙江省との友好提携35周年の節目にあたります。隣国ほど付き合い方が難しいと言われる通り、国レベルで色々なトラブルもあったこの35年間ですが、地方都市あるいは住民同士の友情によって、ここまで関係が発展してきたことは高く評価すべきと言えます。

今年は、年間を通じて相互の交流をはじめ、食・健康・スポーツ・通商・環境などの分野でも記念事業が展開されます。地域の中でも、グローバル・外交を身近に感じられるチャンスかもしれませんね!ぜひ、ご注目下さい。



**しんのすけアプリ
増殖中!!**

「しんのすけアプリ」の登録はお済みですか? 身近に起きている政治・経済・社会の情報をタイムリーにキャッチできますので、どうぞお試しください!

主なコンテンツ

- プロフィールや政策、写真集
- しんのすけチャンネル (ブログ・テレビ・ラジオ・機関誌・漫画)
- 新着☆情報、議会録画中継

アプリはこちらから▶




山崎真之輔プロフィール

- ◆35歳三児の父親
- ◆浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- ◆元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆静岡県議会議員(2期目)
- ◆所属会派:ふじのくに県民クラブ
- ◆所属委員会:建設委員会(副委員長)
- ◆趣味:スポーツ全般、日本舞踊(花柳流)、読書・カラオケ、ボードゲーム



しんのすけ フラッシュニュース

- 12月 4日 相生校区8町合同避難所運営訓練**
今年から8町に拡大。防災ディレクターとして指揮を執りました。
- 1月上旬 各種団体 新年賀詞交歓会**
2017年、政財界の皆様と年初めの抱負を語り合いました。
- 1月10日 会派県政街頭報告**
~11日 雪が散らつく中、県西部をまわり12月定例会の内容をご報告。
- 1月17日 建設委員会 県内視察**
ラグビーW杯の会場となるエコパや、野球場建設予定地の篠原エリアを視察しました。
- 2月15日 海岸利用促進に関する要望書提出**
中面でご紹介した海岸へのアクセスのため、熱い思いを要望。
- 2月19日 第2回ふじのくにカフェ**
浜松のまちなかAnyで、たくさんの若者と意見交換を行いました。
- 2月20日 ~3月16日 県議会2月定例会**
平成29年度の予算と方針を決める大切な議会。すべての議案に可決して幕を閉じました。
- 3月 3日 静岡県議会 経営責任者会議**
数回にわたって協議した結果、新たな政務活動費の運用の仕方を決定。
- 3月29日 ファシリテーション研修**
物事を円滑に進めるスキルを学びました。

浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン

静岡県議会議員 山崎しんのすけ

山崎しんのすけ 第13号 通信

平成29年4月発行

山崎しんのすけ事務所 | ☎430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索



さらに前進 任期折り返しへ



この4月で、私に与えられた2期目の任期も折り返し地点を迎えることになりました。この2年間は、会派内のミッションである「条例作り」に奔走しながらも、地元ではPTA活動、青年会議所運動、また観光や文化に関する政策実現など、多方面に渡り常に走ってきたつもりです。

しかし一方で、地方議会を舞台とした不祥事も頻発し、多くの課題が残されているのも事実です。真に住民に必要とされる議会・議員とは何なのか。議員活動も満10年となった今、改めて原点を見つめなおし、残りの2年間も歩んで参りたいと思います!

2期8年間の総仕上げ 気になる川勝県政の今後。

川勝平太県知事が誕生して、この7月で早8年の歳月が経とうとしています。そこで、会派内で2期目の取り組みに対する業績評価を行ったところ、平均点が3.7点(5点満点中)という結果になりました。特に、防災、医療・福祉、観光などで高い評価をさせて頂きましたが、気になるのは今後の行方。

私たちの会派が掲げる基本理念、「命」「豊」「人」「礎」に基づいた重点施策をさらに前へ進めるため、川勝知事の強力なリーダーシップはまだまだ必要と感じますが…さてどうなるか!?皆様もご注目下さい。



“ふじのくに”づくりの総仕上げ 平成29年度がスタート!

去る3月16日、県議会2月定例会が閉会し、平成29年度の当初予算案1兆2,058億円を可決するとともに、この1年間の県政の方向性を確認しました。平成29年度は、総合計画後期アクションプランの最終年度でもあります。

以下の戦略と施策を着実に実施し、富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくりを更に進めてまいります。

方針1 『ジャパニーズ・ドリーム』の展開と発信

戦略1 スポーツの聖地づくりとスポーツ王国しづおかの復活

- 例)・サイクリストの聖地に向けた裾野の拡大や快適な走行環境づくり
- ・国体上位入賞や五輪選手輩出を目指したジュニアアスリートの発掘・育成



戦略2 世界水準の次世代産業の展開

- 例)・医療健康、食品、光・電子、CNF・農業分野における先端技術を活用した研究開発

戦略3 世界に開かれた観光・通商・外交の実践

- 例)・観光、産業分野等における海外需要の取り込みを通じた「稼ぐ力」の向上
- ・マーケティング戦略に基づく県産品のブランド力強化、販路開拓



戦略4 世界クラスの資源の発信

- 例)・富士山、お茶など世界に誇る地域資源の磨き上げ
- ・豊かな自然、風土、歴史と調和する美しい景観の形成

戦略5 すべての子どもを大切にする社会づくり

- 例)・ひとり親家庭や生活困窮世帯の子どもへの学びの機会の提供
- ・官民協働による、外国人の子どもの日本語教育や高校生の海外留学などへの支援



方針2 “ふじのくに”づくりの総仕上げ

{ 後期アクションプランを推進するための8つの重点取組 }

- ① 大規模地震への万全の備え
- ② 内陸のフロンティアを拓く取組
- ③ 新成長産業の育成と雇用創造
- ④ エネルギーの地産地消
- ⑤ 人口減少社会への挑戦
- ⑥ 多彩な人材を生む学びの場づくり
- ⑦ 健康長寿日本一の延伸
- ⑧ 富士山を活かした地域の魅力づくり

方針3 将来を見据えた戦略的な行政運営

- ★ 健全な財政運営の堅持
- ★ 時代のニーズに的確に対応する機動的かつ能率的な組織づくり

△注目△ 防潮堤整備と海岸利用



これまで何度もお伝えしてきた通り、浜松市沿岸域の防潮堤整備が着々と進められています。全長17.5kmの内、現在は約35%に当たる6.4kmが完成。今後、東京オリンピックが開催される2020年の春に、すべての工事が完了する予定です。

ところが、ここへ来て見過ごされていた課題が顕在化してきました。それは、防潮堤整備期間中、舞阪～中田島砂丘までのほとんどの区間で海岸へのアクセスができないという点です。確かに、工事中は危険な箇所もありますので、いたずらに開放できないのは当然です。しかし、海岸周辺の住民にとっては、海は生活と切っても切れない関係にありますし、またサーフィンや釣り、ビーチスポーツなどを楽しんだり、ビジネスをされたりしている方にとっては死活問題です。

そこで、こうした現状を開拓するために、昨年末からサーフショップの関係者等と連携し、実態把握のためのアンケートを実施したり、県の交通基盤部長に要望書を提出したりと動いて参りました。その結果、3月下旬からは、3カ所の海岸アクセスルートを、工事のしない日曜日に限って開放することとなりました。これによる、コストはかかりません。

駐車スペースの課題なども残っていますが、工事完成までの残り3年間、県や市には、より柔軟な対応を行って頂くよう引き続き現場の声を届けていきたいと思います。



真の目～常にWin-Winで考えよう！～

「命のためだから海岸利用は我慢してもらう」「日常生活が変わるために防潮堤なんて要らない」。一見、もっともな意見なようで、実はこれは典型的なWin-Loseの考え方陥っています。もっと多くの意見を聞いて知恵を絞れば、違う答えが出せたはず。それが、今回のケースでよく分かりました。

防潮堤が完成すれば浜松の海岸はとても安全に、かつ知名度も上がります。それに加えて、海岸利用がしやすく、ビーチスポーツ等も盛んとなれば、まさに鬼に金棒。浜松の海は、将来「宝の海」になるでしょう！常に、Win-Winで物事を考えていきたいですね！

